

## 遠藤由樹子選 秀逸十句

- 3 水筒とタオルが並ぶ炎天下  
長崎県立佐世保東翔高等学校 三年 大坪菜月
- 7 信号の赤濁りたる吹雪かな  
岩手県立水沢高等学校 二年 鈴木明晏
- 8 水道水細し残暑の体育館  
神奈川県立横浜翠嵐高等学校 三年 野澤みのり
- 16 わが呼吸分け与へたるしやぼん玉  
星野高等学校 一年 田中望結
- 17 葱の肌くくぼと撫でて洗ふかな  
星野高等学校 二年 小久保羽琉
- 20 寒厨に製氷音のつましく  
北海道旭川東高等学校 二年 工藤羊平
- 21 なんとなくわかるインコの歌や春  
立教池袋高等学校 三年 笹川佳那人
- 22 懐かしき春日英訳なきと知る  
高田高等学校 一年 網谷菜桜
- 26 稲刈りの父をバス停から眺む  
洛南高等学校 一年 川田美紀
- 27 熊穴に入る甘えたくなる季節  
慶應義塾湘南藤沢高等学校 三年 東郷寿日太

## 岸本尚毅選 秀逸十句

- 26 すれ違ふリフトは無人霧襖  
洛南高等学校 二年 竹内優
- 18 持ち上げて海風に足のやうなもの  
名古屋高等学校 二年 鬼頭孝幸
- 8 木枯に鳩ばつと飛ぶ背の白さ  
神奈川県立横浜翠嵐高等学校 三年 野澤みのり
- 17 きりぎりす組体操の塔の立つ  
星野高等学校 一年 東風平梨緒
- 7 襟巻きに頬鼻耳と沈めたり  
岩手県立水沢高等学校 一年 菅原羽美
- 15 春光のベンチが朽ちてゐて静か  
群馬県立高崎高等学校 二年 須藤神唯
- 21 葛の花ひとひに雲はいれかはり  
愛光高等学校 三年 近藤匠也
- 1 枝先の水木の花を遠望す  
長崎県立佐世保東翔高等学校 三年 石田裕人
- 16 ありがたう春の墓石に刻まるる  
星野高等学校 二年 野城知里
- 14 鍛造の実習終えて梅雨寒し  
岩手県立盛岡工業高等学校 三年 市村真都

## 高柳克弘選 秀逸十句

- 7 大空へ飛んだのか案山子の帽子  
岩手県立水沢高等学校 一年 里館園子
- 8 放課後の永遠めきて冬茜  
神奈川県立横浜翠嵐高等学校 三年 長谷川愛奈
- 16 ラムネ瓶覗く世界が泣いてゐる  
星野高等学校 一年 田中望結
- 17 祖母の手は魚の匂ひ魂迎  
星野高等学校 二年 小久保羽琉
- 19 山茶花や会つたからつて喋らない  
海城高等学校 二年 江島朋之
- 20 火に油夜咄に酒昇る月  
北海道旭川東高等学校 二年 工藤羊平
- 21 麗かやパイプにモルモットの渋滞  
立教池袋高等学校 三年 旗浩平
- 23 玉葱の香や成績の返る朝  
青森県立八戸高等学校 一年 平こころ
- 24 銀色のベンチ病葉照りつける  
愛知県立岡崎東高等学校 一年 鈴木秀昌
- 25 海兵のダンクシュートやソーダ水  
洛南高等学校 二年 奥井健太